

NGNを使ったコンテンツ転送の紹介

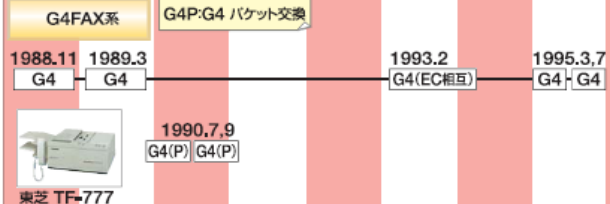
2012年2月1日

ファクシミリ相互接続試験実施連絡会 主査代理

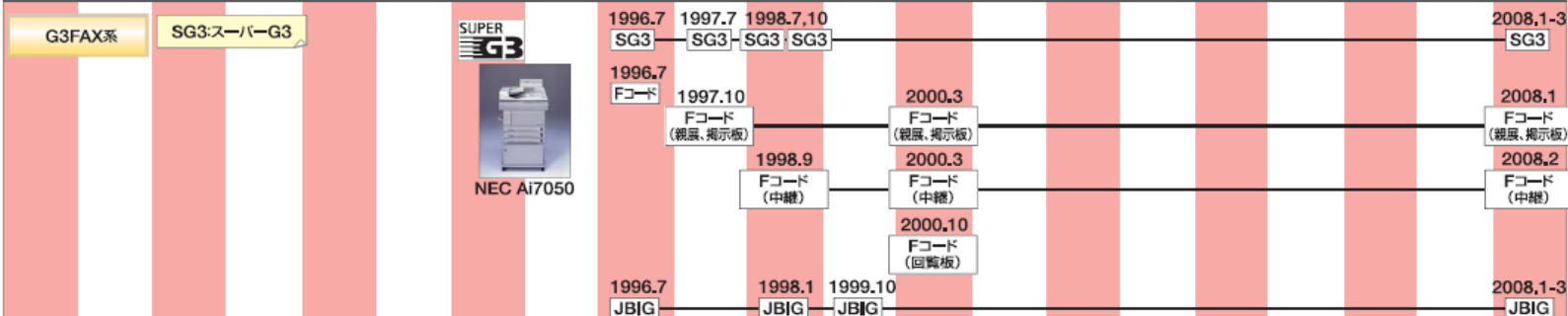
東芝テック株式会社 梅野 清伸

ファクシミリ相互接続試験 20年のあゆみ

G4FAX



スーパー G3FAX



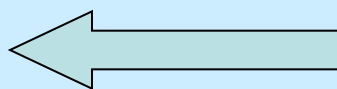
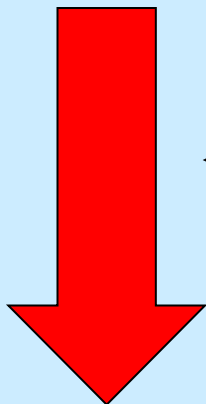
カラーFAX



W-NET FAX



ファクシミリ通信をもっと早く、カラーに！でも、電話番号で送信したい



NGN・データコネクトサービスの商用リリース
(2010年5月)

- ・電話番号(0AB-J)で接続
- ・1 Mbpsで30秒2円

データコネクトサービスの活用で、

速さ、カラー化 > 1Mbpsの帯域を使用することで、

カラーA4 1枚が約10秒程度(2円)

接続方式 > 電話番号(0AB-J)



プロトコルの検討と標準化

新しいプロトコルの国内標準化検討

TTC メディア符号化専門委員会 マルチメディアシステムSWGで検討開始

ユースケースの確認、プロトコルの検討を実施



・通信方式: SOAP/HTTP

　　> PCとの親和性確保

　　(通信相手、サービスの拡大)

・接続モード 3パターン

　　> 既存FAXサービスをターゲット

・新たな機能

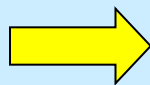
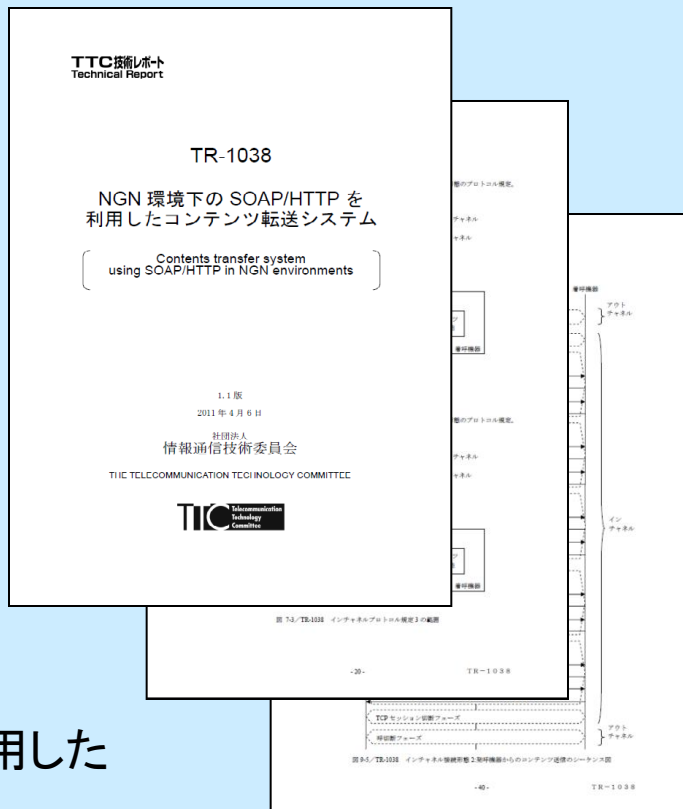
　　> リモートメンテナンス

2011年3月技術レポート化

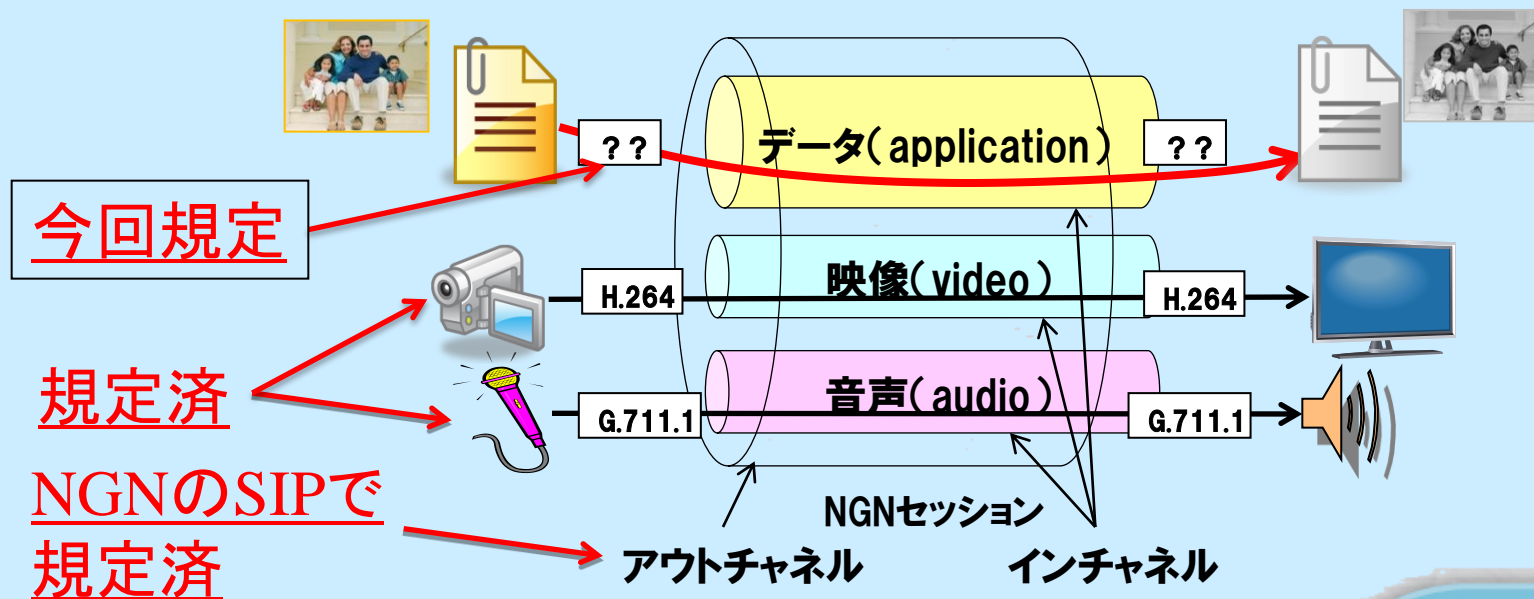
(TR-1038「NGN環境下のSOAP/HTTPを利用した
コンテンツ転送システム」)

* 現在TTC HPから無償でダウンロード可能。

<http://www.ttc.or.jp/j/info/topics/ttcttc1/>

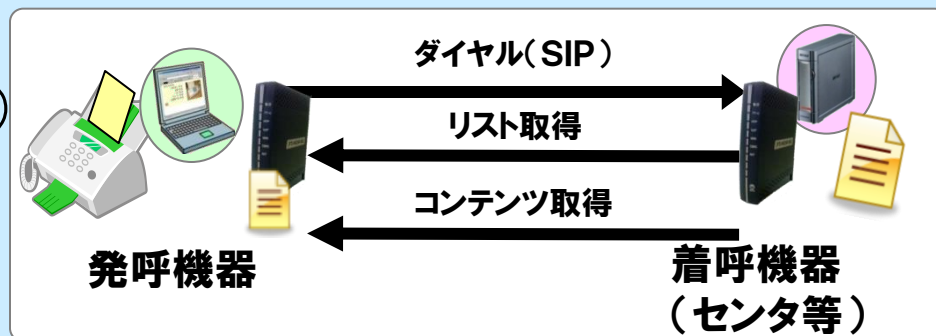


- コンテンツファイルの取得、送信、受信の基本的なインチャネルの通信プロトコルを規定
- インチャネルの通信プロトコルには、SOAP/HTTPを利用して規定
 - TCPコネクションでHTTPが最も多く利用されている
 - SOAPはリモート・プロシージャコール(RPC)の標準として利用されている
 - 多くの開発環境が整備されており、短期間での開発が可能である

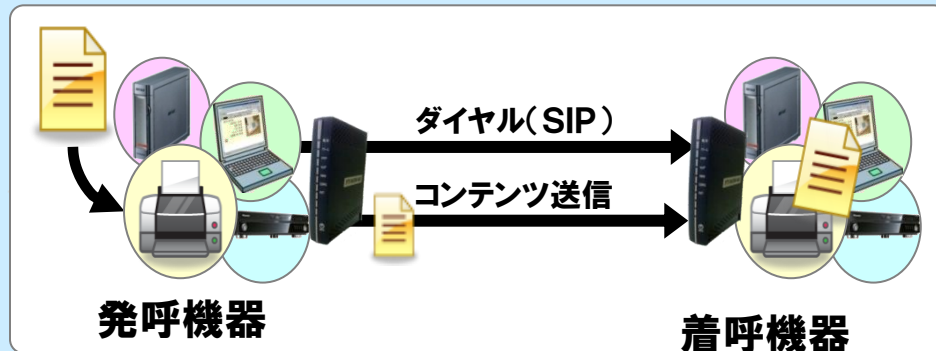


インチャネルの接続として3つの接続形態を定義

- 接続形態1 (蓄積サーバからの取り出し)
複数のコンテンツファイルが存在する
着呼機器に、発呼機器からコンテンツを
選択して取得する



- 接続形態2 (FAX送信)
発呼機器から着呼機器にコンテンツを
送信する



- 接続形態3 (FAXポーリング受信)
着呼機器から発呼機器にコンテンツを
送信する



相互接続試験(トライアル)

- ・期日 2011年9月13～14日
- ・場所 CIAJ会議室
- ・環境 NGN擬似交換機環境
- ・参加 3社(NTT、NTTアドバンステクノロジー、東芝テック)
- ・試験要領



NGN端末間相互接続試験 実施要領(TR-1038(コンテンツ転送))検討案

- ・結果 3社3機種で参加し、試験項目について100%の通信成功

デモンストレーション

- ・TR紹介セミナー(TTC)(2011年10月3日)
ソフトフォン、アダプタでの試作機展示
- ・CEATEC2011 HATS PLAZA(2011年10月4～8日)
ソフトフォンとカラー複合機+アダプタでの試作機展示



✓TR-1038の国内標準化

2012年3月頃(JJ-40.20として制定予定)

* TTC第84回標準化会議にて審議

http://www.ttc.or.jp/j/std/e_vote/taishou_0084/

✓ファクシミリ機能、リモートメンテナンス機能の強化と実用化

関連メーカーとの情報共有、活用の仕組みづくり

情報機器、情報家電との連携検討

✓トライアル試験結果を反映した試験実施要領の作成

トライアル試験の正式試験化

✓国際勧告化

ITU-Tなどへの提案



コンテンツ転送の実用化へ！